

大田第3中学校の皆様へ

心にジーンと染みしてくる劇でした

大田市演劇サークル劇研「空」

代表 洲浜 昌三

全校演劇「ふるさと」の発表、おつかれ様でした。100人以上ものお客様の前で、堂々と演じ、皆さんに感動を与えることができました。大成功です。練習を重ねて行く中で、皆さんはとても謙虚にアドバイスを受け入れ、全員で創始工夫して練習し、とてもいいアンサンブルの舞台ができました。

森山さんが、クラスを支配してきた郷原千秋役に徹して演じられたので、転校してきた古川里見との対立が明確に浮かび上がり、他の日和見的な生徒たちの心の動揺や、里見への協力の動きや流れが、自然に出来上がり伝わってきました。そして、青山先生を演じた全野さんの落ち着いた態度が温かくクラスを包んでいて、好感が持てました。声がよく通り、ことばがよく分かりました。

対立を乗り越えて、全員で「ふるさとを」を歌うラストシーンでは、ジーンと胸にしみてくる感動と喜びがありました。照明など裏方で支えられた先生方や事務の皆さんの協力もあり、まさに全校一体になって作り上げた舞台でした。こんなことは、とこの学校でもできるわけではありません。大田三中の先輩のみなさん、先生方の見識、そしてみんなの協力があって、初めてできる生貴重な舞台であり経験です。



(山本和之) 三中の皆さん文化祭お疲れ様でした。そして、全校劇お疲れ様でした。

本番は見れなかったのが、残念でしたがきっと大成功だったと思います。劇はセリフ覚えたり、大変なことも多いですがやってみると、とても楽しいものだと思います。練習の時の腕相撲のシーンをみながら、皆さんがとても楽しそうなのできっと良い劇になると思っていました。本当にお疲れ様でした。ありがとうございました！



(田中和子)文化祭お疲れ様でした。最初の練習を見せてもらった時点でかなり練習が進んでいるように感じましたが、本番はさらに良くなっていました。それぞれの役の個性が出ていて工夫が感じられたし、腕ずもうのところは動きもスムーズで良い流れでできていたと思います。今年もパワフルな三中生の皆さんの活躍を見せていただき元気をもらいました。

(吉川礼子)三中のみなさん、全校劇お疲れさまでした。

脚本を目にした時には、なかなか表現に工夫のいる劇だなあ、と感じたのですが、文化祭本番は、やはり皆さん 1人ひとりが、しっかり演じておられて、素晴らしい舞台になっていました。

最後の練習では、見られなかった、セリフの言い回しだけでなく、細かい動作も加わり、とても良かったです。最後は、ジーンときて、涙がでそうになりました。

音響や照明のタイミングもしっかり合っていましたし、先生方も本当にお疲れさまでした。素晴らしい発表に、私たちも一緒にきて、嬉しかったです。

感想をお送りするのが遅くなりましたが、以上、4人の感想をお届けします。この演劇を通して体験されたことが、皆さんの今後の人生で見えない力になり財産になることを信じています。

2024年11月12日

劇研「空」 代表 洲浜